

「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」連携調査特別委員会 活動計画書

1 所管調査事項

- ・三重を売り込む営業戦略について

2 重点調査項目

- (1) について
- (2) について
- (3) について

3 活動計画表

重点調査項目	平成25年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成26年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) <input type="text"/> について (2) <input type="text"/> について (3) <input type="text"/> について <調査方法> ○当局から説明聴取 ○参考人招致 ○県内外調査 ○委員間討議 など	委員会設置	委員会 <委員間討議等>	委員会 <委員間討議等>	委員会 <委員間討議等>	委員会 <委員間討議等>	委員会 <委員間討議等>	委員会 <委員間討議等>	委員会 <委員間討議等>	委員会 <委員間討議等>	意見書 提言			
執行部の主な予定		・成果レポート (案)			・首都圏営業拠 点開設		・一般会計・特 別会計決算 ・当初予算の考 え方	・当初予算要求状 況		当初予算 案			

4 県内外調査について

(1) 県内調査

日帰りの調査を適宜実施することができる。

(2) 県外調査

1泊2日以内の行程で1回実施できる。重点調査項目を中心として調査を行う。

平成25年度特別委員会の名称及び所管事項

名称	所管事項	参考(調査範囲)
新エネルギー等活用調査特別委員会	新エネルギー等の活用について調査すること	メタンハイドレートなどの次世代エネルギーも含め、新エネルギー等を活用した新産業創造や地域振興策について調査する。
「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」連携調査特別委員会	三重を売り込む営業戦略について調査すること	式年遷宮や首都圏営業拠点、関西事務所などを効果的に活用しつつ、物産・観光など三重の魅力を県内外に強く情報発信し、三重県の認知度向上に向けた営業戦略の構築について、部局横断的に調査する。

「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」連携調査特別委員会 進め方のイメージ

	回数	時期	取組内容	手法	調査の内容
Ⅰ 現状把握	第1回	5月30日	年間活動 計画策定	委員間討議	調査・検討の進め方について委員間討議を行う。
	第2回	6月下旬	現状把握	当局から説明聴取	執行部から「三重営業本部」を中心とした三重県を売り込む取組について聴き取り、効果的な施策について把握する。
	第3回	7月～8月	現状把握	当局から説明聴取、 参考人招致等	執行部から「三重営業本部」を中心とした三重県を売り込む取組について聴き取り、効果的な施策について把握する。(必要に応じて参考人招致等を行う)
	第4回	9月	現状把握	県外調査	首都圏営業拠点における取組の状況、首都圏における三重県産品の売り込みの現状や課題を把握する。
Ⅱ 論点整理	第5回	10月	現状把握 論点整理	当局から説明聴取 委員間討議	ポストご遷宮も見据えた三重県の売り込みについて課題を抽出する。
	第6回	11月～ 12月	論点議論	委員間討議	課題に対してどのように対応すべきなのか、施策にどのように反映させていくのか議論する。
Ⅲ まとめ	第7回	1月	結果まとめ	委員間討議	議論の結果をとりまとめ、提言等の骨子を検討する。
		2月		執行部に対する提 言等	三重県の認知度向上に向けた営業戦略について、提言する。